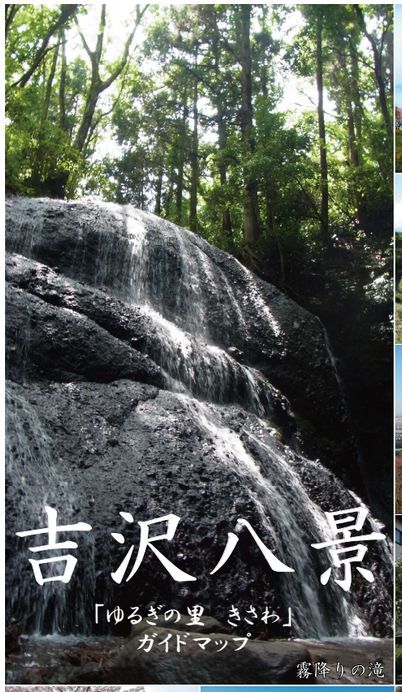


吉沢八景

「ゆるぎの里　きさわ」
ガイドマップ

霧降りの滝

飛谷津の丘

吉沢の里地

松岩寺

めぐみが丘

吉沢小学校

ゆるぎの丘

やつるぎ神社

湘南ひらつかに広がる里地里山

平塚市の西部丘陵地域に位置する吉沢（きさわ）地区。南側には“ゆるぎ地区”と呼ばれる里山一帯を抱き、日本の原風景とも言える美しい里地里山の景色が広がり、富士山や大山などの山々の風景、相模湾や江ノ島の海の風景、段々畑が織り成す美しい農の風景、歴史ある寺社の佇まいや季節を彩る花々など、四季折々に多種多様な風景を楽しむことができます。

吉沢八景に込められた想い

吉沢八景は一つのまとまった風景地を“エリア”として選定し、その中でも特におすすめの場所を「代表的なビューポイント」として示しています。

知る人ぞ知る、この美しい風景を“後世に残し育みたい”という想いのもと、産官学民協働による選定プロジェクトがスタートし、2015 年 11 月に吉沢八景が選定されました。

－制　作－
湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会
東京農業大学・東　海　大　学
中央日本土地建物株式会社
－協　力－
平塚市まちづくり政策部まちづくり政策課
（2024年4月1日更新）

吉沢八景1
『飛谷津の丘』　～にぎわう花見と富士山の眺望～

吉沢地区の西端の集落の飛谷津地区。その高台に上水場が造られたときに整備されたのが『飛谷津の丘』です。吉沢八景の中でも最西部に位置し、芝草と桜並木（ソメイヨシノ）が一面に広がる開放的な場所で、眺望も開けたこの丘には、思わず寝転びたくなるような心地良さがあります。

この丘の魅力は、何と言っても吉沢地区で随一と言われる富士山の眺望です。ダイヤモンド富士やタ富士など様々な表情の富士山を四季折々に楽しむことができ、特に桜が咲き誇る春は、満開の桜並木と雪化粧の残る富士山の絶景を楽しむ大勢の花見客で賑わいます。

里地里山の眺めも楽しめるこの丘は、ハイキングの際のスタート地点として、おすすめのスポットです。

吉沢八景2
『吉沢の里地』　～地形にとけ込む民家や集落～

特に吉沢らしい二つの里地の風景を八景の一つとして取りまとめたのが『吉沢の里地』です。

ひとつめは上吉沢の台地区の路傍からの風景で、延命寺の奥に大山を望み、手前にある集落がまるで霊峰と寺院とに見守られているかのようです。

ふたつめは上吉沢の八剱神社に至る神戸地区の路傍からの風景で、やはり霊峰大山を背景に、特徴的な段々畑と昔ながらに屋敷林を抱いた農家のお屋敷が見事に調和し、丘陵地を活かした生業と営みの景色が広がります。

吉沢八景3
『吉沢小学校』　～さとの学び舎と桜のゲート～

創立百年を超える『吉沢小学校』。かつては茅葺屋根の木造校舎で現在の吉沢公民館の場所にありました。そんな歴史ある小学校の今日の特徴は何といっても赤い三角屋根の展望台で、在校生や卒業生はもちろん、地域の人にとっても愛着ある吉沢のランドマークとなっています。

正門前の桜並木は、その開花で春の訪れと新学期の始まりを告げるだけでなく、葉桜へと移りゆく様子や緑葉の色づく姿で季節の移り変わりとともに子ども達の成長を感じさせてくれます。

この風景は子ども達から最も人気の高かった風景ですが、一方で小学校から見た風景も多くの応募があり、子ども達一人一人の想いが詰まった大切な場所であることが伺えます。

吉沢八景4
『めぐみが丘』　～地域でつくる花とみどりのまちなみ～

『めぐみが丘』はお椀を逆さにしたような小高い丘に誕生した新しい住宅地で、外周路に植わるツツジとハナミズキが街並み全体を美しく彩っています。ゆったりとした敷地でガーデニングを楽しむ人も多く、道路からも趣向を凝らした庭々を楽しむことができます。

そんな『めぐみが丘』では、街ができた当初から、“自分達の街は自分達の手で”をスローガンに、外周路を彩るハナミズキなどの街路樹を住民自らの手で整備し、また、公園や緑地の管理の一部を自分達でも担うなど、みんなで協力して花とみどりのまちなみを大切に守っています。

現在では 870 世帯を超え、若い世代が数多く暮らすめぐみが丘は、吉沢地区全体の地域づくりの活力源としても期待されています。

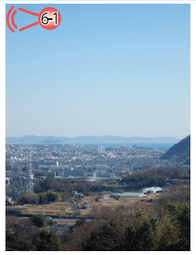
吉沢八景5
『やつるぎ神社』　～2つの鎮守　歴史と文化の拠りどころ～

上吉沢の八剱神社は吉沢地区が一つの集落だった頃からの鎮守社で、二本のケヤキの大木が、荘厳な雰囲気を醸し出しています。

下吉沢の八剱神社は、集落が二つに分かれた際に創建された鎮守で、鳥居の近くには、「かんまん不動」と呼ばれる国の重要文化財の不動明王立像の収蔵施設があります。

どちらも昔からの信仰の場として、また、桜やヒガンバナなどが楽しめる憩いの場として親しまれています。

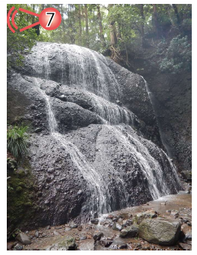
吉沢八景6
『松岩寺』　～樹齢二百年の桜と湘南の海の眺め～



小田原北条時代の1502年に建立された曹洞宗の名刹「松岩寺」は、由緒ある寺として平塚八景に選ばれています。樹齢二百年を超す桜の大木のある高台の墓所からは、近景に段々畑、中景に平塚市街や湘南平、そして遠景に相模湾に浮かぶ江の島という、一枚の美しい絵のような絶景が望めます。

また、山王山に続く散策路を進んだ左手にある「下吉沢展望所」からは、一層広がりのある景色が楽しめます。

吉沢八景7
『霧降りの滝』　～神秘的な清流のせせらぎ～

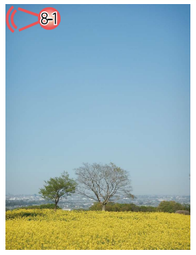


“魔王の滝”とも呼ばれる平塚市を代表する観光スポットで、一枚岩を清流が静かに流れ落ち、心地よい水の音が辺りを包みます。普段は静かなこの滝も大雨が降った翌日などは様相を変え、勢いよく流れ落ちる圧巻の姿が楽しめます。右手奥の岩肌中腹には、高さ50cmほどの小さい不動明王の石像（座像）が祀られています。

滝の下流には「吉沢の池」があり、霧降りの滝とともに、身近な水辺として、昔も今も地元の人々の大切な憩の場となっています。

池と滝の間を結ぶ散策路は稀少な山野草や野鳥の宝庫で、ハイキングコースとして人気があります。近年では、パワースポット巡りを目的として訪れる方々も増えています。

吉沢八景8
『ゆるぎの丘』　～古来の営みが息づく里道と大パノラマ～



上吉沢の八剱神社の脇から尾根道を進むと、富士山をバックに扇状の段々畑が広がる素晴らしい景色が出迎えてくれます。その扇の要にあるのが『ゆるぎの丘』で、左手に大山・丹沢を望み、右手には平塚市街から横浜、遠くには都心のビル群、天気が良いとスカイツリーまでを望む雄大なパノラマが広がります。

春には菜の花で一面が黄色に染まり吉沢地区の春の風物詩の一つとなっています。

寄り道スポット

延命寺
吉沢山地蔵院と号す天台宗の寺院。相模新西国三十三観音霊場25番札所で、本尊の地蔵菩薩半跏像は南北朝時代の1353年の造像と言われ、市の重要文化財に指定されています。

山王山
下吉沢展望所を更に上った左手に「山王山」と呼ばれる小高い頂きがあります。大日如来廻国塔や庚申塔などが並ぶ昔からの信仰の場で、今も地元の人達に親しまれています。

妙覚寺
1142年建立の天台宗の古刹。四脚門と呼ばれる山門は県の重要文化財に指定され、相模新西国三十三観音霊場26番札所でもある観音堂には准胝観音や三十三観音が祀られています。

山の神様
山王山を更に奥へと進むと、御神木と思しき大樹の下に小さい祠がひっそりと佇んでいます。地元では「山の神様」と呼ばれ、こちらも信仰の場として今も大切に守られています。

吉沢公民館（2021年6月建て替え）
寺前橋バス停からも近く、隣接する消防署の脇には「みんなのトイレ」もあり、散策の起点のひとつとなっています。
（駐車できませんのでご注意ください。）

日之宮神社
この神社は明治末期に上吉沢の八剱神社に合祀されましたが、水不足に悩む氏子達が後に再建した石祠が今も祀られています。標高約１８０ｍにあり関東平野を一望する絶景も楽しめます。

トンボの里
トンボがのびのびと生育できるような環境を整えるため、里山から染み出した水を利用したトンボ池を整備しました。季節毎に様々な種類のトンボのヤゴや成虫が観測されています。

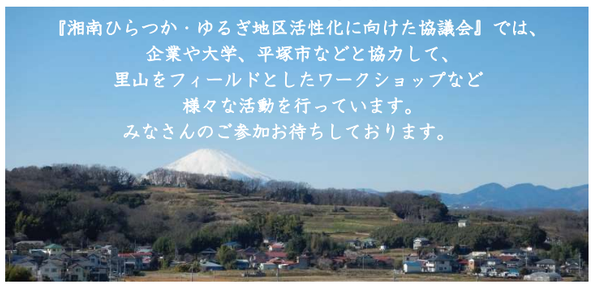
立石
日之宮神社の奥を少し下った先にある巨石で“日本武尊が東征の折に休息のために座った”“石の周りを七周半すると日本武尊が封じ込めた大蛇が出る”などの言い伝えがあります。

ＪＲ平塚駅からのアクセス

平塚駅北口から神奈川中央交通バス／各停留所にて下車

平塚駅北口バスのりば	①番	【平37】【平38】 神奈川大学　行	中沢橋 寺前橋 神　戸 吉　浜 飛谷津
	②番	【平76】 秦野駅南口　行	中沢橋 めぐみが丘南
		【平30】 湘南めぐみが丘　行	中沢橋 松岩寺
		【平31】【平34】 松岩寺　行（南原・中沢橋経由/纏入口経由）	中沢橋/松岩寺 弁天通り
		【平32】 二宮駅南口　行	弁天通り 松岩寺
	③番	【平33】 松岩寺　行　（花水橋・下出縄経由）	

■最新の情報を神奈川中央交通ホームページ等でご確認下さい■
（周辺には公共駐車場はありませんので、公共交通機関のご利用をおすすめします）



＜お問い合わせ＞
平塚市観光協会
神奈川県平塚市紅谷町18-8（ひらつか市民プラザ内）
電話：0463-20-5110 / FAX：0463-20-5150
mail：info@hiratsuka-kankou.com　URL：www.hiratsuka-kankou.com
湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会
神奈川県平塚市下吉沢488-2（中央日土地平塚事務所内）
電話：0463-58-4179 / FAX：0463-59-2933
URL：www.hiratsuka-kisawa.jimdofree.com/